

## 研究主題

「自ら学び、かかわり合い、自分の思いを表現できる児童の育成」  
～言語活動の工夫と情報活用の充実を目指して～

## 研究仮説

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、学習指導要領において「言語能力及び情報活用力」とはどのようなものなのかを確認しながら、以下の取り組みをすることで、情報を正確に理解し適切に表現する力の育成や言語活動の充実が図れるのではないかな。

【仮説１】辞書の活用や言葉に着目させた授業展開を行うことで語彙が増え、主述、係り受け等を理解し、文章で表された情報を的確に理解することができるようになるのではないかな。

【仮説２】単元で身に付けたい力に最適な言語活動を位置づけ並行読書を行うことで、相手・目的意識を明確にして目的に沿った情報を取り出し、自分の考えを表現することができるようになるのではないかな。

【仮説３】図書館資料や新聞等を活用した授業改善を進め、日常の読書活動へとつなげることで、主体的に文章を読み、幅広い読書につなげることができるのではないかな。